

第4回レクチャー「スマートインフラマネジメントと土木遺産」 アンケート結果【概要版】

1. 講演についての感想 【抜粋】

---

1. 講演から感じたこと

1 橋を維持管理していくための人口が地方の方が少なくなくて修繕、更新が困難な状態場合は、交通量を利用者にとらえ利用者が多い場合は県が維持管理するのではなく国が維持管理するシステムとするのがよいのではないかと考えた。また利用人口が少なくとも維持管理を続けていく必要があるということを経量的に評価する新たな仕組みが必要ではないかと考えた。

デジタル技術の活用したメンテナンス管理は省力化を飛躍的に改善できるという発表があったが、AI 関連の技術を測量、設計、施工、維持管理に関わる、大手企業と政令市政都市などのみが実現できる可能性は想定されるが、中小企業や市町村の管理する施設までのすそ野まで浸透させるには課題が大きすぎるのではと感じた。土木遺産を残していくためには利用する人がいること、残してほしいという人がいること、観光的な価値があることを評価することが必要では想定されるが、それらの評価が得られず利用者も極端に少ない施設の場合は廃棄にすることもやむを得ないのかと感じた。

2. 久田先生のお話で、構造物としての機能は年数とともに低下するが文化的価値は上がる。という言葉に感銘を受けました。その後の議論はとても刺激的で、専門知識のない私も引き込まれました。効率化を優先すると文化的価値が軽視されるのではないかと。それを避けるために文化的価値を定量化できないか。そして定性的もよいのではないかと。というディスカッションは素敵でした。銀山温泉の老朽化した橋の事例においても、それは住民や訪れる方にとって、銀山温泉のシンボルとして位置づけられているからこそ。今回のテーマはとても素敵であったし、参加してよかったと心から思いました。ありがとうございました。

3. 本レクチャーでは、香取市の土木遺産と地域づくりに関する講演と、東北大学の久田教授より、SIP 第3期課題のスマートインフラマネジメントシステム構築プロジェクトについての講演がありました。講演のほか、「インフラの文化的価値とその維持管理」がテーマのパネルディスカッションが行われました。

香取市の発表の中で、現在も利用されている横利根閘門（重要文化財）などが紹介されました。デジタルツイン技術によるインフラの再現と体験ができるなど、地域の歴史と文化を伝える重要な資源としていることが発表されました。インフラは生活を支える基盤だけではなく、その強固な建造物が歴史資源となりえることが重要なポイントであり、市民の興味関心がインフラ点検にもつながることが強く示唆されるのだと感じました。

2. 今後取り上げてもらいたいテーマ 【抜粋】

---

1. 具体的な構造物を対象とした保全設計の事例や留意点を取り上げていただけるとありがたいです。
2. 土木遺産や一般的な土木構造物の維持と修繕について、引き続き、取り上げてもらいたい。
3. 市民参加の橋守活動や、インフラの異常を通報する取り組みなど。
4. 地方都市の土木遺産の紹介、保存方法、修復方法、街づくりへの利用等

3. 自由意見 【46件】

---

1. これからも魅力的な活動を応援しております。
2. 土木技術者の自画自賛の遺産ではなく、地域に根差した観光資源としての視点も重要です。
3. 貴重な土木遺産の修復の施策に、見聞を広める機会となりました。
4. 土木遺産だけでなく、老朽化した大規模下水道などの、目に見えない基幹施設の修復技術についても、どこかで注目する必要があると思います。

## 4. 集計

### ①職業 (n=179)

会社員	152	( 84.9% )
会社役員	4	( 2.2% )
団体職員	7	( 3.9% )
契約社員・派遣社員	7	( 3.9% )
個人事業主・自営業	6	( 3.4% )
公務員	1	( 0.6% )
退職された方・無職の方	1	( 0.6% )
団体役員	1	( 0.6% )

### ②専門分野 (n=178)

道路 (道路施設)	34	( 19.1% )
河川、砂防及び海岸・海洋	32	( 18.0% )
鋼構造及びコンクリート	32	( 18.0% )
土質及び基礎	15	( 8.4% )
施工計画、施工設備及び積算	15	( 8.4% )
都市及び地方計画	12	( 6.7% )
港湾及び空港	7	( 3.9% )
建設環境	7	( 3.9% )
下水道	6	( 3.3% )
トンネル	5	( 2.8% )
上水道及び工業用水道	2	( 1.1% )
農業土木	2	( 1.1% )
その他	9	( 5.1% )

建設コンサルタント、排水ポンプ及びトンネル換気設備の電気、交通調査、鉄道、電気、事業企画、森林土木、造園、造園建設業

### ③シンポジウムを知ったきっかけ (n=179)

土木学会 HP 行事申込のページ	131	( 73.2% )
土木学会 HP 土木史委員会のページ	13	( 7.2% )
土木学会誌	12	( 6.7% )
家族・友人・知人からの紹介	7	( 3.9% )
次回案内メール	5	( 2.8% )
社内情報	4	( 2.2% )
建設系 CPD プログラム情報検索	2	( 1.1% )
SNS (X 旧 Twitter・Facebook 等)	2	( 1.1% )
その他	3	( 1.7% )

香取市から、業務発注者からの紹介、土木学会北海道支部からのメールニュース

### ④シンポジウムの満足度 (n=240、5段階評価、⑤とても満足・④満足・③どちらともいえない・②不満・①とても不満)

平均 4.09 ( ⑤:5 ④:97 ③:28 ②:2 ①:1 )

### ⑤音声配信の満足度 (n=205、5段階評価、⑤とても満足・④満足・③どちらともいえない・②不満・①とても不満)

平均 3.48 ( ⑤:36 ④:49 ③:52 ②:34 ①:2 )

### ⑥次回案内の希望者

87.4% (153名/175)